

○鳥取県有種雄牛 ‘福美之姫’

1 ‘福美之姫’ の造成

畜産試験場では優秀な種雄牛の造成を期待する農家希望に応え、鳥取県和牛改良方針に基づき、県内和牛の改良を促進するために独自性の高い種雄牛造成に取り組んでいる。

その種雄候補牛の遺伝的産肉能力を判定する現場後代検定を 2003 年から実施し、これまで 31 頭が種雄牛として選抜されてきた。2025 年 10 月に新たに ‘福美之姫’ が好成績で選抜されたので紹介する。



(2) ‘福美之姫’ の要約

‘福美之姫’ は、本県種雄牛 ‘白鵬 8 5 の 3’ の母 ‘みどり’ の流れを持ち、県内外での知名度が高い但馬系雌牛 ‘みどりのこ 1’ に ‘福之姫’ を交配した令和元年 1 2 月生まれの種雄牛である。

1 7 頭で実施した産子の肥育試験では、枝肉重量 5 1 7 . 6 k g、BMS ナンバー 1 0 . 9、またオレイン酸 5 5 . 3 %と 3 項目で現場後代検定県歴代 2 位相当の成績を記録した。

また、オレイン酸だけでなく、霜降りのかめの細かさの目安となる評価値 (R F V) も高く、雌牛でも枝肉重量が取れ、肉質・肉量の両方を兼ね備えた種雄牛である。

‘福美之姫’ の血統

福之姫 黒原5689(82.7) [栃木 大田]	芳之国 黒14203(80.0) [栃木 鹿沼]	第1花国 黒12510(82.8) よしえ 黒2082883(80.1)
	ふくひめ3 黒原1345236(83.0) [鹿児島 薩摩]	勝忠平 黒原3800 ふくひめ 黒原1214913(83.3)
	みどりのこ1 黒原1711168(82.5) [鳥取 倉吉]	美津照 黒高2050(83.3) [宮崎 小林]
みどりのこ1 黒原1711168(82.5) [鳥取 倉吉]	美津照重 黒高2050(83.3) [宮崎 小林]	美津照 黒13162(81.0) いつみ 黒原1159970(80.2)
	みどりのこ 黒原1654743(81.0) [鳥取 倉吉]	安福久 黒原4416(85.5) みどり 黒原1311663(83.3)

育種価評価(遺伝的能力評価値)

	福美之姫	県内雌牛 平均
枝肉重量	84.73	37.65
ロース芯面積	25.87	16.86
バラ厚	1.57	0.96
皮下脂肪厚	-0.32	-0.55
推定歩留	3.74	2.94
脂肪交雑	4.06	2.31
オレイン酸	1.46	-0.13
グリコーゲン(水分補正)	-0.09	-0.18
RFV	0.56	0.77

2025年10月評価

県内供用中雌牛との育種価比較

「平均」「1/4」「1/10」「1/100」はそれぞれ県内供用中雌牛の
「平均」「上位 1/4」「上位 1/10」「上位 1/100」の育種価を示す

※RFV：粗脂肪含量相対値。同じ BMS ナンバーでの粗脂肪含量の多寡を示す。数値が小さいほど霜降りが細かいなど小ざし評価の目安としている。

2 試験成果の概要

17頭で実施した調査牛全体の平均枝肉重量は517.6kg、BMSは10.9、オレイン酸は55.3%と、それぞれ現場後代検定県歴代2位相当の成績を記録し、枝肉重量、BMSにおいては全国平均を大きく上回った（全国平均※：枝肉重量492.6kg、BMS8.9）。一般的に雌の枝肉重量は去勢より小さいものの、本牛の雌産子は枝肉重量500kgを超える肉量のとれるものが多かった。また「鳥取和牛オレイン55」のブランド認定基準であるオレイン酸55%以上が17頭中10頭（58.8%）と多く、肉質の評価値も高い結果であった。

※枝肉成績とりまとめ概要（令和6年度）より引用（オレイン酸の記録なし）

【現場後代検定成績】

性別	母の父	母の祖父	と畜場所	と畜月齢	格付	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留	BMS	脂肪交雑等級	BCS	オレイン酸	グリコーゲン
去勢	白鵬85の3	百合茂	名和	29.7	A 5	624.9	92	10.0	2.7	77.8	12	5	4	53.4	2.5
去勢	勝忠平	安福栄	名和	28.3	A 5	575.0	83	9.4	2.5	77.1	12	5	4	55.3	2.1
去勢	百合白清2	美津照重	名和	28.4	A 5	477.9	74	8.8	2.6	76.6	12	5	4	53.0	4.3
去勢	百合白清2	勝忠平	名和	31.5	A 5	605.5	80	10.2	3.4	76.0	11	5	4	59.0	4.0
去勢	安福久	天保院斗	名和	28.2	A 5	527.4	64	7.8	2.7	73.8	10	5	4	56.8	4.4
去勢	白清85の3	平茂勝	東京	28.4	A 5	568.0	64	9.7	2.8	74.6	10	5	4	56.2	－
去勢	隆之国	勝忠平	名和	27.0	A 4	450.8	57	7.7	1.6	74.8	6	4	4	52.4	5.0
雌	美国桜	安福久	神戸	31.7	A 5	520.8	84	8.7	3.2	76.7	12	5	4	55.9	－
雌	百合福久	隆之国	名和	30.8	A 5	502.6	83	10.2	2.6	78.3	12	5	4	54.2	1.8
雌	北福波	忠富士	名和	31.7	A 5	443.0	71	8.4	2.0	76.9	12	5	4	56.3	6.9
雌	白鵬85の3	安福久	神戸	28.5	A 5	434.9	69	7.4	2.9	75.3	12	5	4	54.1	－
雌	直太郎	秀菊安	名和	30.3	A 5	531.7	68	9.4	2.8	75.4	12	5	4	55.6	4.2
雌	福増	平茂勝	名和	30.9	A 5	523.0	90	10.1	4.1	77.6	11	5	4	56.9	3.0
雌	百合福久	菊知恵	神戸	29.7	A 5	474.9	75	6.5	3.0	74.8	11	5	4	53.3	－
雌	耕富士	秀菊安	名和	31.0	A 5	565.2	75	8.7	2.1	76.0	11	5	3	56.5	3.0
雌	隆福也	勝忠平	名和	30.6	A 5	503.1	72	9.8	3.4	76.0	11	5	3	57.1	3.3
雌	百合茂	美津福	名和	28.3	A 5	470.7	60	8.3	2.6	74.5	8	5	4	53.5	3.6

全体	17頭	517.6	74.2	8.9	2.8	76.0	10.9	4.9	3.9	55.3	3.7
去勢	7頭	547.1	73.4	9.1	2.6	75.8	10.4	4.9	4.0	55.2	3.7
雌	10頭	497.0	74.7	8.8	2.9	76.2	11.2	5.0	3.8	55.3	3.7

注) 単位は枝肉重量：kg ロース芯面積：cm² バラ・皮下：cm 歩留・オレイン酸：%
グリコーゲン（水分補正值）

3 普及の対象及び注意事項

本牛は様々な血統の繁殖雌牛に交配しやすく、鳥取和牛の肉質・肉量の改良に大いに期待できる。
本牛は令和4年9月に関節炎を発症し廃用となったため、保管されている凍結精液からの供給となる。

4 試験担当者

育種改良研究室 室長 野儀 卓哉